



協会報

2020

発行日 毎月1日 通算発行 406号

2



今月のトピックス

令和2年 (一社)石川県建設業協会・石川県
総合建設業協同組合 合同新年祝賀会の開催

令和元年度「i-Construction 大賞」受賞取組の紹介
～(株)豊歳組が国土交通大臣賞を受賞～



《石川の工芸シリーズ⑳》

金沢美術工芸大学蔵

金銀象嵌博山香炉

米沢 弘安【明治20(1887)年一昭和47(1972)年】

制作年/大正13(1924)年 サイズ/径21.5×高さ19.9cm 技法/加賀象嵌
本作品は古代中国の神仙思想において不老長寿の仙人が棲む理想郷と伝えられる「博山」になぞらえたもの。博山に見立てられた円錐形の蓋が、幾重にも重なる山並みを思わせる。胴部や承盤には白山に生息する高山植物のつが桜、黒百合や南京小桜(別名白山小桜)が加賀象嵌の伝統的技法、平象嵌によって施されている。

“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業

発行所 ● 一般社団法人

石川県建設業協会

〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号
TEL (076) 242-1161(代) FAX (076) 241-9258

URL: <http://www.ishikenkyo.or.jp/>

CONTENTS

2020

2



《石川の工芸シリーズ》
金銀象嵌博山香炉
米沢 弘安(はねざわ ひろやす)

1	今月のトピックス	
	令和2年 (一社)石川県建設業協会・石川県総合建設業協同組合 合同新年祝賀会の開催	2
2	令和元年度「i-Construction大賞」受賞取組の紹介	
	～(株)豊蔵組が国土交通大臣賞を受賞～	3
3	最近の完成工事から	
	穴水・越の原 IC アクセス道路 ～県道穴水劔地線・町道宇留地越の原線の完成～	
	石川県土木部道路建設課 穴水町基盤整備課	4
4	令和元年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介 vol.2	
	北都・宮下・西中特定建設工事共同企業体	6
5	雇用改善コーナー	
	工業系高等学校における学業成績優良卒業生に対する協会長表彰の実施	8
	令和元年度インターンシップについて	9
	令和元年度 富士教育訓練センター派遣事業の実施について	10
6	2019年度第3回 建設業景況調査(石川県版)	
	東日本建設業保証(株) 石川支店	11
7	地区協会コーナー	
	『猿鬼歩こう走ろう健康大会』の紹介	
	(一社)鳳輪建設業協会	12
8	会員リレーコーナー	
	⑭大和建設株式会社	13
9	今月の「輝き!」さん No.59	
	みづほ工業株式会社 瀬戸悠介さん	14
10	おすすめ県政出前講座 vol.6	
	地震・津波・風水害などの自然災害対策 石川県危機管理監室危機対策課	15
11	協会だより	
	委員会の開催	16
	土木委員会	
	第5回役員会の開催	16
	広報・研修委員会	
	委員会の開催	16
	建設技術研修所	
	令和2年度 新入社員研修のご案内	16
	令和2年度 富士教育訓練センター訓練生募集のご案内	17
12	国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会 主催	
	令和元年度「私たちの主張」応募作品の紹介	
	「希望」 株式会社 高田組 高 瑞樹	18
13	業界時報	
	労働災害発生状況	19
	令和元年度 建設工事受注高調(元請)	19
14	会員消息	20
15	県協会からのお知らせ	20
16	地区協会からのお知らせ	21

◆ 今月のトピックス ◆

令和2年 (一社)石川県建設業協会 合同新年祝賀会の開催 石川県総合建設業協同組合

令和2年(一社)石川県建設業協会・石川県総合建設業協同組合の合同新年祝賀会は、1月21日(火)午後6時から、ホテル日航金沢において、谷本正憲石川県知事をはじめ、馳浩衆議院議員、足立敏之参議院議員、福村章県議会議長、県議会議員、国・県の関係行政機関の長及び協会関係団体代表者等の来賓の他、協会員、組合員を合わせた223名が参加し開催された。

会は、小倉淳県建設業協会会長他3名の協会副会長による新年祝儀として、主計町の芸妓による「君が代 松竹梅」及び東西、主計町芸妓衆による「金沢風雅」の踊りの披露で幕開けした。冒頭、主催者を代表し小倉会長が、「今夏の東京オリンピック・パラリンピックの開催に併せ、金沢城公園、金沢港の機能強化、国立工芸館などの交流基盤整備が着々と進められてきた。

我々建設業界も協力し急ピッチで仕上げの段階となり、明るい未来に向けた新たな歴史の幕開けが近づいていることを実感している。オリンピックを契機に様々な基盤整備が着実に進み、元気な輝かしい年になることを期待している。令和になっても気候変動による記録的な台風や豪雨災害が発生し、全国各地で多くの犠牲者が出るとともに甚大な被害をもたらした。県協会としても、復旧・復興に向け協力・連携体制を整えてきた。現在、県内でも防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策が進められているが、3か年で終わるものではなく、着実かつ計画的に国土強靱化、地域防災力の強化対策が継続され、我々建設業が「地域の守り手」としての社会的使命を果たしていかなければならないとの思いを強くしている。昨年の改正労働基準法の施行など、建設業界を取り巻く環境は大きく変化している。県協会としても、令和「美しき調和」の時代にふさわしく、新3K産業として県民の皆様から認めていただけるよう、行政との相互連携・協力のもと努力を重ねてまいります。」と挨拶。

来賓祝辞では、谷本知事が、「金沢港クルーズターミナルが4月4日にオープンし、国立工芸館、鼠多門、鼠多門橋もオリンピック前に完成する。交通アクセス整備に関しても順調に進捗しており、建設業の皆さんのご協力で改めて感謝申し上げます。」と挨拶。続いて、馳衆議院議員、足立参議院議員、福村県議会議長がそれぞれ祝辞を述べた後、徳野光春県議会副議長の乾杯の発声で和やかに歓談となり、平櫻 保県建設業協会副会長の中締めにより閉会した。



芸妓衆による金沢風雅



会場



小倉 淳会長挨拶



谷本正憲
石川県知事



馳 浩
衆議院議員



足立敏之
参議院議員



福村 章
県議会議長



徳野光春
県議会副議長
(乾杯)



平櫻 保
副会長
(中締め)

令和元年度「i-Construction大賞」受賞取組の紹介 ～(株)豊蔵組が国土交通大臣賞を受賞～

国土交通省の令和元年度「i-Construction大賞」の受賞取組が発表され、ICT施行やBIM/CIMに先進的に取り組んだ公共工事の受注者を対象とした「工事・業務部門」で、(株)豊蔵組が国土交通大臣賞を受賞しました。

■工事名 H29・30能越道 長沢道路その7工事

■工事分野 土木工事（道路新設）

■施工場所 輪島市三井町長沢地先

■工期 平成29年8月1日～平成30年7月31日

■工事・業務概要

能越自動車道・輪島道路11.5kmの内、延長約420mを施工する工事である。工事内容は土砂掘削23,600m³、軟岩掘削19,450m³、路体盛土22,600m³、法面整形4,630m³、他一式。

本工事は、急峻な山間地において主に土工を行う工事であり、例年にない降雪により冬期間はほとんど休工となった。限られた工期において、効率よく施工する（生産性を向上させる）必要があり、ICT施工や保護コンクリートを吹付モルタルで行う等、多くの創意工夫により、完全週休2日にも取り組みながら無事、工事を完成させた。また、新たなICT施工への取り組みとして、軟岩の法面整形および水路掘削において、マシンコントロールバックホウにツインヘッドを装着し、施工性等の検証を行った。



工事範囲全景：南から北方向へ撮影



使用機械：コマツ PC200i-10



法面整形状況



小段排水掘削状況



i-Construction大賞 国土交通大臣賞受賞

■工事責任者のコメント



監理技術者

吉田照紀氏

この度は、令和元年度i-Construction大賞【国土交通大臣賞】を賜り、誠にありがとうございます。

建設業はこれまで大きな変化が無く、建設業に携わる人は将来の夢や展望がぼやけていた気がします。しかし、ICT技術の普及に伴い、現場の施工方法や管理方法が大きく変わってきて夢やわくわく感がでてきた気がします。私はICT技術の可能性を追求し、建設業が魅力のある職業であるようにしたいと思います。

今回の受賞に対し、ご指導ご協力いただいた方々に、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

最近の完成工事から

穴水・越の原ICアクセス道路 ～県道穴水劔地線・町道宇留地越の原線の完成～

石川県土木部道路建設課
穴水町基盤整備課

1 はじめに

県道穴水劔地線と町道宇留地越の原線は、のと里山海道越の原ICと穴水市街地を最短で結ぶ道路でしたが、幅員が狭くすれ違いが困難であることに加え、一部区間が急勾配であることやカーブが連続しているため、安全で円滑な通行に支障をきたしていました。

こうした中、町ではアクセス強化のため、町道上出来迎寺線や宇留地越の原線（Ⅰ期）の整備に精力的に取り組んでいたことから、県としても町を支援するため、県道穴水劔地線の拡幅整備、また、町としても引き続き宇留地越の原線（Ⅱ期）のバイパス整備にそれぞれ着手し、令和元年11月9日に無事完成する運びとなりました。



位置図



写真-1 幅員が狭くすれ違いが困難(穴水劔地線)



写真-2 急勾配でカーブが連続(宇留地越の原線)

2 事業概要

【石川県】

路線名：県道穴水劔地線
事業箇所：穴水町字大町～宇留地 地内
事業期間：平成26年度～令和元年度
延長：L=1.1km
幅員：W=5.5(7.0)m

【穴水町】

路線名：町道宇留地越の原線（Ⅱ期）
事業箇所：穴水町字鹿路～越の原 地内
事業期間：平成27年度～令和元年度
延長：L=0.6km
幅員：W=5.5(7.0)m

3 事業の効果

本区間の完成により、越の原インターチェンジから穴水市街地に至る円滑な通行が可能となり、地域の皆様の安全・安心な交通が確保されるとともに、のと里山海道へのアクセス機能が強化されることとなりました。



写真一3 完成後の状況（宇留地地内）



写真一4 完成後の状況（鹿路地内）

4 完成を祝う会の開催

本道路の完成を記念して、穴水町主催の「県道穴水剣地線・町道宇留地越の原線完成を祝う会」が開催され、来賓の方々をはじめ、用地を提供いただいた地権者の皆様や近隣の多くの住民の方々が集い、完成を祝福しました。また、地元穴水高校の書道ガールズによる書道パフォーマンスが披露され、新しい道路が将来の穴水町へ、輝く未来へ繋がる道になってほしいという願いを込め、大きな「道」の文字が披露されたほか、地元企業である(株)ミスズライフが栽培した野菜を使った料理が振る舞われるなど、盛大に執り行われました。



写真一5 書道ガールズのパフォーマンス



写真一6 記念写真

5 おわりに

県では金沢と穴水のさらなる時間距離の短縮を図るため、のと里山海道で最長となる上棚地内のゆずりレーンの延伸工事について、今年春の供用を目指して整備を進めるとともに、町の魅力向上のため穴水中心部において無電柱化事業を進めており、今後一層の交流人口の拡大につながるものと期待しています。

最後に、本道路の整備に多大なるご尽力を賜りました関係各位には、心から感謝を申し上げます。

令和元年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介

vol.2

施工企業名：北都・宮下・西中特定建設工事共同企業体

■工事名 主要地方道能都内浦線 地方道改築（防災・安全）工事（(仮)真脇トンネル）

■工事分野 トンネル工事

■施工場所 鳳珠郡能登町字真脇～小木 地内

■工事概要

施工延長 L=310.9m 幅員 W=6.0(7.0)m
トンネル工(NATM) L=310.9m

■工期 平成28年9月30日～平成30年6月29日

■推薦理由

本工事は、老朽化が著しく、幅員も非常に狭く大型車同士のすれ違いが困難な既設トンネルを拡幅する工事である。

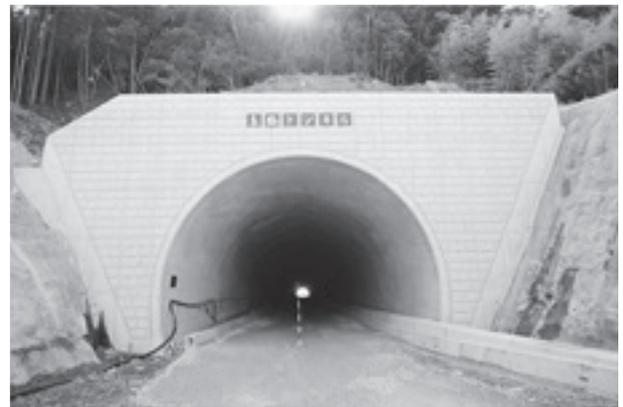
トンネル掘削時においては、小型カメラにより既設トンネル上部空洞の状態を確認し、断層部にはドリルジャンボによる前方探査を実施し、削孔スピードやスライムにより地山状況を把握することで、掘削天端及び切羽の安定に努め、作業環境の安全性を向上させた。

トンネル覆工コンクリートにおいて、乾燥収縮によるひび割れを防止するため、給水養生工法を使用することや、坑内通風による温度低下を避けるため、坑口に防風シートを設置し保温性を高め、品質向上に努めた。

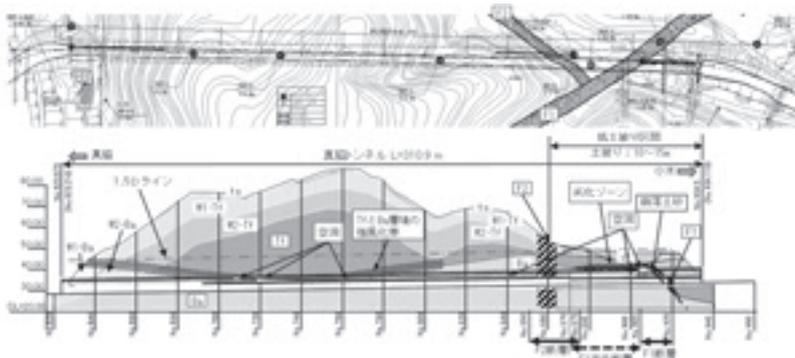
また、隣接する人家等に対しては、防音壁には防音シートをさらに追加設置し、コンクリートプラント設備は防音パネルにて被覆し、防音性を向上させた。また、施工ヤード敷地境界に騒音振動表示機を設置し、作業員の環境意識高揚を図った。



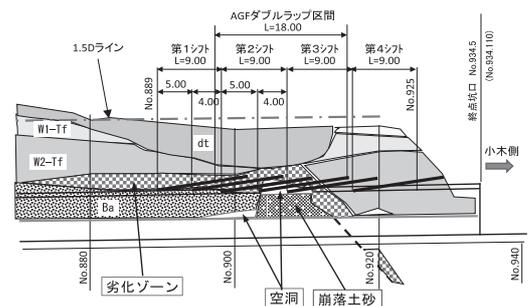
着手前



完成



地形・地質概要図



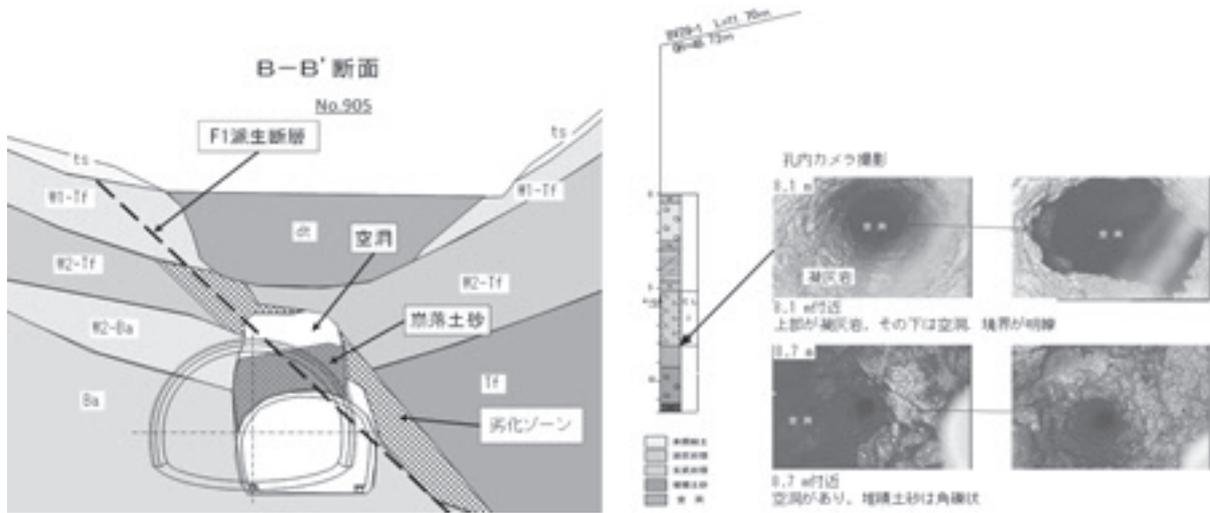
AGF 割付図



切羽状況（エアモルタル注入状況）No.724



F1断層部の切羽状況 No.905



F1断層部の既設隧道背面状況

■現場代理人のコメント



現場代理人
本野圭司 氏

本工事は、既設隧道の老朽化に伴い、既設隧道を取壊しながら、新規トンネルを施工する工事で、事前調査より断層の存在が認められ、特にF1断層付近は、低土被り（10～15m）のうえに、既設隧道周辺は当時の掘削による緩み領域が発達し、既設覆工の背面やF1断層部に空洞が確認されていました。これら断層や空洞に対して適確に対応し掘削を進めることを重要視し、F1断層の詳細及び既設隧道背面の緩み領域や空洞の状況について追加調査を行いました。

F1断層部では、補助工法である長尺鋼管先受け工（AGF）の施工での対応でしたが、掘削時の天端崩落の可能性、鋼管間からの土砂崩落の恐れがあった為、通常より短いシフトで施工するダブルラップ配置の採用により、先受け効果の増大、地山補強効果を向上させました。また、空洞に対しては、ほぼ全区間で確認された為、全線で裏込め注入を実施し地山の連続性を確保し掘削時の緩み領域の拡大を防止しました。その他、掘削時地山にどのような事象が発生するかを想定し、それに対する適切な対策工の選定、配置施工範囲等の検討を行いました。

この情報収集～情報分析から対応を決定したことで、安定した切羽状態を確保し、手戻りもなく無事故で工事を完成することができました。

最後に、施工にあたり「真脇トンネル技術検討委員会」の皆様方には多くのご指導をいただき本当にありがとうございました。

雇用改善コーナー

工業系高等学校における学業成績優良卒業生に対する 協会長表彰の実施

(一社)石川県建設業協会(会長 小倉 淳)は、若年労働者の人材確保・育成事業の一環として、県内の工業系高等学校を対象に、学業成績・学習態度が優秀で、生徒会活動や部活動等に功績があり、卒業後は当協会の会員企業に内定し、学校長の推薦のある生徒を表彰している。

本年度は下記の3名に対し表彰を行うこととした。

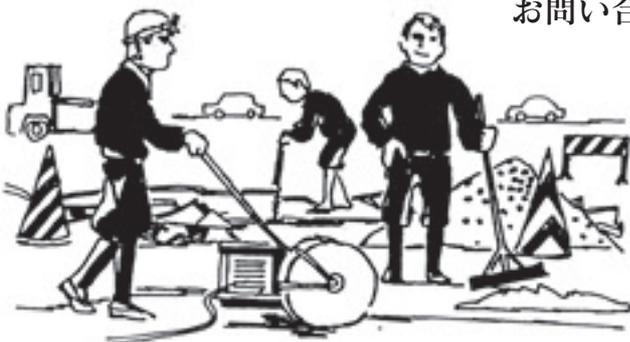


学校名	石川県立羽咋工業高等学校 (建設造形科)	石川県立翠星高等学校 (総合グリーン科学科)	石川県立小松工業高等学校 (建設科)
氏名	中村 烈	塩田 拓	西田 凌
内定先企業	みづほ工業(株)	協和道路(株)	(株)トーケン

不慮の災害事故発生にそなえて

全建協連総合補償制度 自動車保険

お問い合わせは・・・



石川県総合建設業協同組合

損害保険ジャパン日本興亜株式会社
損保ジャパン日本興亜保険サービス株式会社

TEL 076-231-7787

FAX 076-231-7766

〒920-0919 金沢市南町5-20

中屋三井ビル2F

令和元年度インターンシップについて

令和元年度の県内工業系高校のインターンシップは、昨年7月から始まり10月をもって終了しました。

建設産業の担い手不足が叫ばれ、特に若年者の確保が急務となっておりますが、平素より若年建設労働者の現場教育の重要性と必要性に深く理解を示され、生徒の受入れを快諾いただきました企業の皆様にご心より感謝申し上げますとともに、生徒の受入れに関し仲介の労をいただきました地区協会の皆様にご心よりお礼申し上げます。

〈高校別実施状況〉

金沢市立工業高等学校

実習生 建築科

期間 7月22日(月)～7月26日(金)

生徒名	派遣先
首田 柊 沖野 恵	(株)豊蔵組
前田 崇太 山下 愛永	みづほ工業(株)
中川 唯菜 平島 果菜	(株)長坂組

金沢市立工業高等学校

実習生 土木科

期間 8月19日(月)～8月22日(木)

生徒名	派遣先
桶谷 魁 川島 隼志	(株)明翫組
栗原 克哉 野澤 蓮	(株)北都組
金澤 広登 橋本宜可子	大三建設(株)

石川県立翠星高等学校

実習生 総合グリーン科学科

期間 9月25日(水)～9月27日(金)

生徒名	派遣先
小林 遼翔 前多 星瑛	(株)松建
北島 慶多 大橋寿輝哉	(株)共和建設
浦 大希 竹本 悠祐	白山建設(株)
津田 隆成 中瀬 迅	(株)酒谷組
山口 桐吾 松本 侑真	(株)日豊技研
小松田悠太 中野 聖哉	(株)小山組
松本 青空 小玉 喬介	辰野建設工業(株)

生徒名 派遣先

丸谷 将也 中尾 悠生	沢田工業(株)
横山 悠夢 北村 遥奈	島屋建設(株)
浜田 鈴菜 石田 大我	北川ビューテック(株)

石川県立小松工業高等学校

実習生 建設科 土木コース

期間 10月23日(水)～10月25日(金)

生徒名	派遣先
米林 琢真 加籬 桜介 作田 大知	(株)江口組
築田 行斗 二木明空斗 大蔵 蓮	(株)丸西組
安本 翔太 前田 大	(株)吉光組
山下 楓馬 島田 遥輝	加越建設(株)
東出 聖真 坪内 力円	(株)駒沢建工 キャロットホーム
新谷 朋希 村中 拓未	道場建設(株)
北浦 滉大	(株)寺田鉄工建設
餅山 隼希	(株)白原組
長谷 凜奈	誠和建設(株)
吉田 聖羅	高藤建設工業(株)
岡田 大空	灰田建設(株)
橋本 陸斗	本建設工業(株)
伊藤 幹太	(株)友真社
天池 礼龍	横山建設(株)
加藤ひかる 廣瀬 真人	丸信建設(株)
杉本 乃吾	(株)ウエストサークル
大壁 亮斗	(株)高木組
江川 寛翔	中島建設(株)
北田 一吉	丸中建設(株)
高畠 大知	石川舗道(株)

生徒名	派遣先
嶋名 康平	太陽工業(株)
西山 巧祐	白山道路(株)
新木 涼太 納谷 凌平	小中出建設(株)
作見 健翔 山本 響花	ダイド建設(株)
清水 真凜	(株)ミヤジマ建設
奥村木乃音	(株)向出組
川口 侍治 山崎 翔大	日樽建設工業(株)
宮野前 心	(株)三和建設

生徒名	派遣先
安井 拓真 澤田 朋香 順毛 深琴	アオイ建設(株)
山本 颯汰	南建設(株)
板坂 真依	勝二建設(株)
坂本 瑠莉	小倉建設(株)

石川県立羽咋工業高等学校

実習生 建設造形科 土木コース
期 間 10月16日(水)~10月18日(金)

石川県立羽咋工業高等学校

実習生 建設造形科 建築コース
期 間 10月16日(水)~10月18日(金)

生徒名	派遣先
岩城 慎冬 小浦 柊太	(株)戸田組
大谷 央翔 南 明穂	(株)表組
中村 夏旗 山口 華穂	免田産業(株)
日光 春樹 卜部 優奈	(株)杉本工務店

生徒名	派遣先
中村 旭希 前田 優希 山辺 芽久	小倉建設(株)
表 篤史 府中 康太 南 美里	(株)麝香重機建設
中山 宙大 山田胡心捺	壁屋建設(株)
山岸 大智 山口奈菜子	(株)山崎建設
山田 大輔	勝二建設(株)
森下 真暖	寺井建設(株)

令和元年度 富士教育訓練センター派遣事業の実施について

雇用対策特別委員会(委員長 岡 昌弘)は、県協会の会員企業等に就職が内定している県内の工業系・普通科高校生を対象に毎年2月、社会人としてのマナー・技能資格の取得を目的として、富士教育訓練センターへの派遣事業を実施している。

本年度は、「就職前準備研修」2日間、「技能講習」6日間とし、2月8日(土)から15日(土)までの7泊8日の日程で、下記参加者38名にて派遣事業を実施することとした。なお、上記期間中は事務局が引率する。

学校名	参加者名			
石川県立小松工業高等学校	太田 泰誠	奥 光太朗	金子 健大	川上 壱幸
	新谷 一真	寺岡 美香	永田 大輝	中村 碧志
	西田 凌	橋 美尋	林 天磨	水口 玲音
	山下 剛琉	和田 泰我		
石川県立羽咋工業高等学校	出島 光翔	寺下 将生	濱下 敦郎	丸山 倅希
	大根 賢斗	永滝 由汰	福田 圭佑	
金沢市立工業高等学校	角屋 雄太	小村 勇大	清水 希一	中村 理夢
	北原 由香	駒木 翔太	坂下 悠星	中川 寛太
	原 湧大	本多 大翔	角谷有希奈	竹田唯菜穂
	辰橋 彩綾			
石川県立翠星高等学校	塩田 拓			
石川県立内灘高等学校	坂本 聖雅			
金沢龍谷高等学校	池田 龍星			
鵬学園高等学校	増山昇一郎			

2019年度第3回 建設業景況調査（石川県版）

東日本建設業保証(株) 石川支店

<概要>

○資材の調達は、「困難」傾向から「容易」傾向に転じている。
来期は、再び「困難」傾向に転じる見通し。

○受注総額は、「減少」傾向が強まっている。
来期は、「減少」傾向が続く見通し。

○官公庁工事は、「減少」傾向が強まっている。
来期は、「減少」傾向が弱まる見通し。

【今期：前期（2019年7～9月）に比べた今期（2019年10～12月）の状況】

【来期：今期（2019年10～12月）に比べた来期（2020年1～3月）の状況】

項 目	前期	今期		来期		
		B.S.I.値	推移方向 (前期比)	B.S.I.値	推移方向 (今期比)	B.S.I.値
(1)業 況 等	地元建設業界の景気※	▲4.0	↘	▲5.5	↘	▲15.5
(2)受 注	受 注 総 額※	▲7.5	↘	▲15.0	⇨	▲15.0
	官 公 庁 工 事※	▲12.0	↘	▲17.5	↘	▲10.5
	民 間 工 事※	▲7.5	↘	▲13.0	⇨	▲13.0
(3)資 材	資 材 の 調 達※	▲4.0	↗	0.5	↘	▲0.5
	資 材 の 価 格	18.0	↗	20.5	↘	14.0
(4)労 務	建 設 労 働 者 の 確 保※	▲23.0	↘	▲25.5	↗	▲24.5
	建 設 労 働 者 の 賃 金	16.5	↘	13.0	↘	10.0
(5)収 益	※	▲8.0	↘	▲11.0	↘	▲21.0

(注)・B.S.I.値のプラスは、良い、増加、容易、上昇の傾向を示す。
・B.S.I.値のマイナスは、悪い、減少、困難、下降の傾向を示す。
・表中の※印は、季節調整項目を示す。

【B.S.I.の見方】

B.S.I.（ビジネス・サーベイ・インデックス＝景況判断指数）は、「良い」「悪い」など意識調査の回答数の構成比から全体の趨勢を判断するものです。以下の計算式により数値化して求められます。

$$\frac{(\text{「良い」と回答した企業割合} - \text{「悪い」と回答した企業割合}) \times 1/2}{}$$

※「変わらず」は除いて計算

お問い合わせ先

東日本建設業保証(株) 石川支店 TEL:076-242-1231

地区協会コーナー

『猿鬼歩こう走ろう健康大会』の紹介

(一社)鳳輪建設業協会

『猿鬼歩こう走ろう健康大会』は、旧柳田村で、村民の健康を目的として始まったもので、今年で34回目を迎えます。

当日地区に古くから伝わる猿鬼伝説のある猿鬼神社と柳田運動公園間をコースに、「歩こうの部」と「走ろうの部」があります。

当初は秋に開催されていましたが、近年は、「のとキリシマツツジ」の開花に合わせた5月の第1日曜日に開催されるようになり、歩こうの部のコースも、「のとキリシマツツジ」のオープンガーデンを繋ぐコースとなりました。

今年の開催要項は下記のとおりです。皆様のご参加をお待ちしています。



走ろうの部 (スタート)



歩こうの部

開催日 令和2年5月3日(日) 雨天決行

会場 柳田運動公園 (柳田体育館・野球場)

種目 走ろうの部

- ・ハーフ (日本陸連公認コース)
- ・10km (日本陸連公認コース)
- ・5km
- ・3km

歩こうの部

- ・健脚猿鬼コース 15km
- ・やませみコース 10km
- ・せせらぎコース 6km

参加費 走ろうの部 一般 3,000円、高校生以下 1,500円

歩こうの部 どなたも 1,500円
(能登町内の小・中学生は無料)

申込期限 令和2年2月29日(土) (「歩こうの部」のみ当日参加申込可能)

※詳細な開催要項及び申込書は能登町ホームページ (<http://www.town.noto.lg.jp>) を参照してください。

会員リレーコーナー

①94 大和建设株式会社

(所在地：石川県羽咋郡志賀町矢蔵谷井15番地5)



社章

協会員の皆様方におかれましては、令和と年号が変わり、初めての新年を心新たに迎える事ができました事、心よりお慶び申し上げます。また昨年は、台風や大雨等の災害に遭われた多くの皆様方には、心からの復興をお祈り致します。

さて、弊社は昭和61年2月に私が創業致した会社であります。設立より平成14年10月迄は、志賀町高浜町で営業しており、現在地には平成14年11月に移転し、現在に至っております。当初は、土木工事及びとび・土工を主に県内は言うに及ばず、県外へも出張して施工してまいりました。設立当初より十数年は、大型造成工事等で業界全体が活気に満ち溢れておりましたが、年々発注工事も減少傾向にあり、建設業界の高齢化に伴う人手不足が問題となっておりますが、当社は近年若手も入社し、社員一丸となり安全及び品質向上に日々邁進しております。またドローンによる現場写真や、



社屋

重機のICT化による現場施工等全てが日々進化している現状で、社員も意欲を持って工事施工に取り組んでおります。

本業である建設業の日々の取り組みの他に、平成25年に石川県商工労働部から建設業複業化支援の承認を受け、平成25年12月には784kwhの大和建设(株)第一発電所を運転開始し、続いて平成26年4月には504kwhの第二発電所の運転開始と約1.3メガの発電所の営業が副業として加わりました。

生活や産業の基盤となる公共設備を整え、充実させるこの建設業は、無くてはならない大事な業界であり、それに携わる業界の一員として、心を一つに明日に希望を持って、感謝の心を忘れず成長していければ幸いに思います。

今回は柳田建設株式会社 代表取締役 駒寄美和子さんにバトンをお渡ししますので、よろしくお願ひします。

(大和建设株式会社 代表取締役社長 池田征舟)

今月の「輝き！」さん

No. 59



みづほ工業株式会社 瀬戸悠介さん

業 種：工務部
経験年数：5年11ヶ月
年 齢：24歳

金沢市野町3丁目の現場事務所に今月の輝きさん瀬戸悠介さんを訪ねました。

—この現場はどのような工事をされているのですか？
この現場は、保育所の増改築工場の現場です。私は、昨年の5月から所長の下で現場監理を担当しています。

—あなたの会社について教えてください。
私が勤務するみづほ工業株式会社は、金沢市八日市5丁目に本社を置く総合建設業の会社です。私は、工務部に所属し現場監理を担当しています。当社は一般木造住宅をはじめ、マンション、文化・教育施設、商業施設等の建設に加え、医業経営コンサルタントによる開業支援を行うメディカル事業、飲食事業等を手掛けています。

—あなたの経歴と会社への入社動機について教えてください。

私は、金沢市出身で地元の小・中学校を経て、金沢市立工業高校建築科に入学しました。高校卒業後は就職すると決めていたものの、最初から建設業を考えていた訳ではありません。学校での授業を通じて少しずつ建築に対する興味が湧いてきたのです。3年生の夏

休みに、みづほ工業で3日間の就業体験をさせていただきました。短い期間でしたが大きな建物の建設現場を目の当たりにして、この仕事はやりがいがあると感じました。そんなご縁もあって入社を決めました。

—これまでに苦労した現場はありますか？

金沢市内のマンション新築工事現場を経験しましたが、施工場所自体が狭隘なうえ、幹線道路や一方通行の道路に囲まれていたため、資材搬入や工事の一部を夜間にせざるを得ないなど、大変苦労しましたが勉強にもなりました。

—やりがいを感じる時は？

建物の本体工事が完了し、周りの足場や養生シートが撤去されて建物の全体像が現れたときには、何とも言えない喜びとやりがいを感じます。この仕事を選んでよかったと思います。

—休日の過ごし方、趣味等について教えてください。

中学校では陸上部に所属し長距離を得意としていました。高校では球技に興味があったのでハンドボール部に籍を置きました。県大会でベスト4まで進みました。今は身体を動かす機会もありませんが、休日には、好きな音楽を聞いたり友人とドライブをしたりしてリフレッシュしています。

—最後に将来の夢、目標は？

—昨年に2級建築施工管理技士の資格を取得しました。次の目標は1級建築施工管理技士の資格を取得することです。受験まで数年ありますので、1回で合格できるよう今から準備をしています。仕事に必要な資格をひとつでも多く取得して自分のスキルを高め、会社により貢献できればと思っています。そして将来は、後輩を上手に指導でき誰からも尊敬されるような現場監督になりたいと思っています。

HELL OF FIVE
EST.2011

けんせつ一番星☆

「-Sunset Express-MOVE」毎月第4火曜日 18:00~18:05

エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星☆」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。

是非お聞きください。

おすすめ vol.6 県政出前講座

今月のテーマ

地震・津波・風水害などの自然災害対策

石川県危機管理監室危機対策課

「地震・津波・風水害などの自然災害対策」では、自然災害の概要や最新の防災・減災対策のほか、地域防災力の重要性について紹介します。近年、自然災害が頻発している中、多くの方にご利用いただき、防災・減災の意識を高めていただければ幸いです。

自然災害の概要

自然災害が発生するメカニズムのほか、近年の災害について紹介します。



出典：関東地方整備局

令和元年台風第15号

石川県内で発生した主な災害

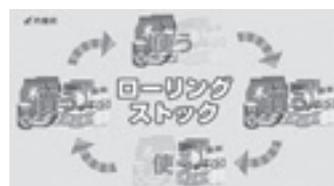
平成19年に発生した能登半島地震をはじめ、県災害対策本部が設置された事例等について紹介します。



能登半島地震

今後起こりうる自然災害と対策

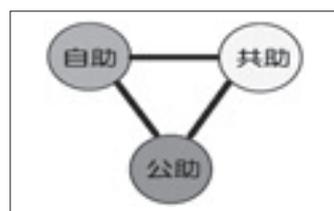
地震対策をはじめ、日頃から県民の皆様に行っていただきたい備えについて説明します。



ローリングストック

自助・共助の重要性

能登半島地震では、「地域の絆」に支えられた共助活動が重要な役割を果たしたことから、地域防災力の重要性について説明します。



災害時の助け合いの3形態

県政出前講座について

【テーマは何種類？誰が説明？】

県政出前講座では、上記で紹介したテーマの他、約140件のテーマからお好きなテーマを選ぶことができます。説明は各テーマ担当課職員（県庁職員）が説明します。

【費用と所要時間は？】

職員の派遣に関する費用（旅費・軽微な資料代など）は、不要ですが、会場は申込団体でご用意ください。講座の所要時間は1時間から1時間30分程度です。

【受講する人員は？】

おおむね10人以上から受講できます。

【申し込み方法は？】

石川県ホームページから（<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kenmin/demae/>）詳しい申し込み方法をご覧ください。パンフレットをお求めの方は、石川県広報広聴室までお問い合わせください。

（石川県広報広聴室 電話：076-225-1362 メール：e130500b@pref.ishikawa.lg.jp）

協会だより

委員会の開催

土木委員会

◎第5回役員会の開催

土木委員会（委員長 竹腰勇ノ介）は、1月15日（水）に石川県建設総合センター会議室において、役員会を開催した。

今回は2月4日（火）に行う「金沢河川国道事務所との意見交換会」の提案議題について審議を行うものである。会議では、会員企業から寄せられた入札契約関係や総合評価関係、設計積算関係、施工計画関係、監督検査などに関する議題について項目毎に審議を行い、23議題を意見交換会の提案議題として選定し、散会した。



広報・研修委員会

◎委員会の開催

広報・研修委員会（委員長 高田直人）は、1月21日（火）午後4時30分から、ホテル日航金沢において、令和2年最初の委員会を開催した。冒頭、高田委員長の挨拶が行われた後、下記事項について審議・報告を行った。

- 1 協会報2月号について
事務局説明の編集計画が審議され承認された。
- 2 研修所からのお知らせ
・建設業税財務講習会の開催
・令和2年度新入社員研修の実施
について報告がなされた。
- 3 その他
キャッシュレス時代への対応について研修を行った。



建設技術研修所

◎令和2年度 新入社員研修のご案内

令和2年度の新入社員研修を東日本建設業保証（株）及び（一社）金沢建設業協会と共催で下記要領により実施いたします。本研修は、建設業界に新しく入られる社員を対象に、一日も早く社会生活のルールや仕事の基本を身につけ、企業の戦力として働くことができるよう経験豊かな講師により研修を行うものです。なお、陸上自衛隊金沢駐屯地のご協力を頂き、研修期間中に自衛隊の生活体験入隊（1泊2日）を実施することとしており、女性の体験入隊も可能となっております。

なお、受講者が10名に満たない場合は、中止する場合があります。

記

◇研修の対象者

- ・県協会員企業、地区協会員企業、一般建設企業の新入社員。
- ・過去に本研修を受講していない者。令和2年度以前入社の社員でも可。

※自衛隊の受け入れ枠が定められており、定員を超えた場合抽選となる場合があります。なお、外国籍の方は、自衛隊生活体験入隊の対象外となります。

◇日時

- 【研 修】 令和2年4月7日(火) 9時～16時(受付8時30分より)
研修内容:「建設フレッシュマンの心得(仮)」等
【自衛隊生活体験】 令和2年4月8日(水)～9日(木)(1泊2日)(予定)

◇場 所

- 【研 修】 石川県建設総合センター 7階大ホール
金沢市弥生2丁目1番23号 TEL:076-242-1161
【自衛隊生活体験】 陸上自衛隊金沢駐屯地
金沢市野田町1丁目8番地

◇受講料

- 【研 修 の み】 県協会員及び地区協会員 5,000円(教材代含む)
一 般 7,500円(")
【研修と自衛隊生活体験】 県協会員 10,000円(教材、食事、宿泊代含む)
地区協会員 15,000円(")
一 般 18,000円(")

※自衛隊生活体験のみの申込みはできません。

◇振込み先

石川県建設業協会技術研修所
北國銀行 泉支店 (普)72026

※研修開催決定のご案内後、お振込みください。

◇受講申込み

- 【研 修 の み】 2月28日(金)まで
【研修と自衛隊生活体験】 2月3日(月)まで(申込終了)

◇その他

- ・研修の持参品 筆記用具(昼食はこちらでご用意いたします)
- ・自衛隊入隊時の持参品 作業着、トレーニングウェア、運動靴、腕時計等
自衛隊生活体験参加時における保険加入については、県協会の負担とさせていただきます。なお、詳しい日程、持ち物等の詳細案内は、参加者に後日、改めてご連絡いたします。

お申込み・お問合せ先

(一社)石川県建設業協会 担当:本多
TEL (076)242-1161 FAX (076)241-9258 E-mail honda@ishikenkyo.or.jp

令和2年度 富士教育訓練センター訓練生募集のご案内

富士教育訓練センターでは、建設現場で仕事ができる技術者・技能者を育成するため、令和2年度も、土木施工管理基礎コースをはじめとした33コースを設け訓練生を募集しております。

なお、県建設業協会では、人材対策事業の一環として下記4コースに対し助成金を支給しています。支給の申請は、受講後に「人材育成派遣事業助成金支給申請書」に受講したコースの「修了証書のコピー」を添えて、県建設業協会事務局まで申請してください。

〈助成対象コース〉

- 土木施工管理基礎
- 土木施工科(1)
- 建築施工管理基礎
- 建築施工科(1)

※ 訓練コース等の詳細については、県協会グループウェアを参照ください。

国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会 主催

令和元年度 「私たちの主張」応募作品の紹介

「希望」

株式会社 高田組 高 瑞樹

私がこの会社に就職して三年目を迎えました。工業高校では土木について学び、高校で学んだことを活かしたいと考え、この会社に入社しました。入社した頃は何もわからず、会社の先輩方に迷惑をかけてばかりで、高校で学んだことは建設業のほんの一部だったのだと痛感しました。しかし、約二年、この仕事を続けてきて少しは建設業のことが分かってきたと思います。そして、この機会に建設業の魅力について書いてみたいと思います。

皆さん、建設業のイメージは？と聞かれたら、何を思い浮かべますか。やはり、多くの方々が「きつい」「汚い」「危険」といったマイナスのイメージを持っていることでしょう。たしかに建設業は常に危険と隣り合わせで大変な職業だと思えます。ですが、この仕事は人々のより良い生活のためには必要不可欠であると同時に、たくさんの魅力が詰まっている素晴らしい業界だと思えます。

例えば平成の時代、残念ながら多くの自然災害に見舞われました。特に、阪神淡路大震災と東日本大震災は多くの方々の記憶に残っていることでしょう。この二つの大震災の復興を支えているのは、紛れもなく建設業です。自らの危険をかえりみず、復興に向かって頑張っている姿は、被災された方々の「希望」になっているはずです。

また、建設業は人々の生活を豊かにする非常に重要な役割を担っている業界です。普段、当たり前のように使っている道路や橋・トンネルなどの土木構造物や、電気・ガス・水道などのライフラインは建設業に携わる人達によって造られています。建設業に携わる人達は常に多くの人々がより良い生活を送るために一丸となって、一生懸命に頑張っています。私はこのような仕事に携わるこ

とが出来て誇りに思っています。そして、とてもやりがいを感じています。

土木構造物は、一人の力では決して完成させることは出来ません。たくさんの人達が力を合わせて一つの構造物を造っているのです。言わばチームでの仕事なのです。私は、そのチームのまとめ役である施工管理の仕事をしています。この仕事は工程管理や原価管理、品質管理、そして安全管理を行う仕事です。とても責任が重く、大変な仕事です。その分、作業員の方々と協力して一つの構造物を完成させた時の達成感は、他の職業では味わえないものだと思います。私はまだまだ未熟で技術者として足りない部分が多いですが、早く一流の現場監督になれるように先輩から多くのことを学び、日々勉強しているところです。

今年、元号が平成から令和に変わり、新たな時代が始まりました。これを機に建設業も変わっていかねばならないと思っています。世間からの悪いイメージを払拭していくには、建設業全体で労働環境の改善や建設業の魅力の発信などに、これまで以上に取り組んでいかねばならないと感じています。そして、建設業で働く全ての方々が笑顔でいられるような時代を目指し、「希望」ある建設業界を築いていかねばなりません。

最後に、若い世代の方々に伝えたいことがあります。まだまだ、建設業にはプラスのイメージを持っている人は少ないと思います。しかし、辛くて大変な仕事の先にある達成感や、作業員の方々の深い絆など、建設業にはたくさんの魅力が溢れています。多くの方々の「希望」となり、建設業界で一緒に協力して建設業界を盛り上げていきましょう。

業界時報

労働災害発生状況
～建設業労働災害防止協会～

署別・業種別件数（令和元年分）

令和元年12月末 速報

業種別 署別	土木工事	建築工事	設備工事	計	前年同期	全産業
金沢監督署	① 10	(18) 37	11	① (18) 58	① (16) 70	③ 629
小松監督署	① 16	(5) 10	4	① (5) 30	② (7) 29	② 203
七尾監督署	① 5	(6) 13	4	① (6) 22	(5) 21	① 115
穴水監督署	8	(2) 3	1	(2) 12	(8) 15	① 64
計	③ 39	(31) 63	20	③ (31) 122	③ (36) 135	⑦ 1,011
前年同期	① 27	① (36) 76	① 32	③ (36) 135		⑭ 1,138

()内は木建工事 ○内は死亡者数

令和元年度 建設工事受注高調（元請）

民間

（単位100万円）

	土 木			建 築			計		
	令和元年度	平成30年度	%	令和元年度	平成30年度	%	令和元年度	平成30年度	%
10月分	160	403	39.7%	4,877	2,405	202.8%	5,037	2,808	179.4%
11月分	139	186	74.7%	1,921	1,362	141.0%	2,060	1,548	133.1%
12月分	183	146	125.3%	1,089	1,575	69.1%	1,272	1,721	73.9%
年度累計	2,390	2,551	93.7%	19,648	20,344	96.6%	22,038	22,895	96.3%
29年度累計		3,377	70.8%		23,640	83.1%		27,017	81.6%
28年度累計		3,863	61.9%		19,384	101.4%		23,247	94.8%

官公庁

	土 木			建 築			計		
	令和元年度	平成30年度	%	令和元年度	平成30年度	%	令和元年度	平成30年度	%
10月分	3,722	5,034	73.9%	399	773	51.6%	4,121	5,807	71.0%
11月分	3,538	2,836	124.8%	496	450	110.2%	4,034	3,286	122.8%
12月分	3,552	2,646	134.2%	1,853	621	298.4%	5,405	3,267	165.4%
年度累計	37,038	31,601	117.2%	12,798	9,010	142.0%	49,836	40,611	122.7%
29年度累計		29,679	124.8%		16,888	75.8%		46,567	107.0%
28年度累計		37,924	97.7%		10,769	118.8%		48,693	102.3%

合 計（民間+官公庁）

	令和元年度	平成30年度	%
10月分	9,158	8,615	106.3%
11月分	6,094	4,834	126.1%
12月分	6,677	4,988	133.9%

	令和元年度	平成30年度	%
年度累計	71,874	63,506	113.2%
29年度累計		73,584	97.7%
28年度累計		71,940	99.9%

会員消息

今回届け出があったのは次の1件でした。

○変更

会社名	変更前	変更後	変更年月日
	代表者	代表者	
加賀建設(株)	鶴山 庄市	鶴山 雄一	令和2年1月22日

なお、変更があった時点で届出頂くようお願い致します。

県協会からのお知らせ

令和2年2月行事予定

- 2月 2日(日) 西田昭二新春国政報告会 (あえの風)
 3日(月) 正副会長会議
 常任理事会
 4日(火) 土木委員会 金沢河川国道事務所との意見交換会
 (ANAホリデイ・イン金沢スカイ)
 青年委員会 富山県青年部新春講演会
 (富山 グランテラス富山)
 5日(水) YouTubeを活用した情報共有と人材育成講習会
 開催について(～7日)
 情報共有システム体験会 (金沢市立工業高校)
 7日(金) 北陸地方整備局との意見交換会
 (ホテル日航金沢)
 翠星高校意見交換会 (翠星高校)
 8日(土) 富士教育訓練センター派遣事業(～15日)
 (静岡 富士教育訓練センター)
 9日(日) 佐々木紀新春国政報告会 (小松公会堂)
 公明党「新春政経懇話会」 (ホテル金沢)
 12日(水) 北陸地方建設事業推進協議会 部会(～13日)
 (北陸地方整備局)
 14日(金) 建築委員会 技術部会
 建退共 事務担当者意見交換会
 (東京 TKP池袋カンファレンスセンター)
 17日(月) 会報編集委員会
 ICT活用講習会(経営者クラス)
 18日(火) 広報・研修委員会 企画部会
 19日(水) 令和2年度 建設業経理検定等実施計画説明会
 (東京 建設業振興基金)
 令和元年度 災害対応功労者感謝状贈呈式
 (北陸地方整備局)
 20日(木) 青年委員会 石川県との意見交換会
 (ANAホリデイ・イン金沢スカイ)
 ICT活用工事報告会 (富山 富山県民会館)
 21日(金) 技士会 DVD講習会 (小松能美建設業協会)
 情報共有システム体験会 (小松工業高校)

- 22日(土) 令和元年度自衛隊入隊入校予定者激励会
 (金沢 東急ホテル)
 25日(火) 建設業税財務講習会
 北陸建設業協会 事務局会議 (福井)
 26日(水) 全建 労働委員会 (東京 東京建設会館)
 石川県産業教育振興会 第2回理事会
 (ANAホリデイ・イン金沢スカイ)
 27日(木) 北陸地方建設事業推進協議会 運営委員会
 (北陸地方整備局)
 北陸地方整備局と北陸3県土木施工管理技士会
 との意見交換 (新潟 アートホテル新潟駅前)
 28日(金) 事務局打合せ
 土地改良委員会 第3回技術検討部会
 29日(土) 情報共有システム講習会

令和2年3月以降の行事予定

- 3月 2日(月) 全建 経営委員会 (東京 東京会館)
 3日(火) 正副会長会議
 建設産業人材確保・育成推進協議会
 (東京 浜離宮プラザ)
 6日(金) 全国建産連 総務委員会 (東京)
 7日(土) 岸 省三氏旭日双光章受章を祝う会
 (ホテルアローレ)
 11日(水) 全国建産連 専門工事業委員会 (東京)
 13日(金) 技士会 DVD講習会 (七尾鹿島建設業協会)
 廃棄物講習会
 18日(水) 全建 協議員会 (東京 経団連会館)
 19日(木) 建災防 第145回理事会 (東京 経団連会館)
 建設業振興基金参与会 (東京 経団連会館)
 23日(月) 土地改良委員会 全体会議 (ホテル日航金沢)
 26日(木) 全建 専務・事務局局長会議 (東京 鉄鋼会館)
 4月 3日(金) 正副会長会議
 常任理事会
 7日(火) 新入社員研修(～9日)
 27日(月) 正副会長会議

会員消息

今回届け出があったのは次の1件でした。

○変更

会社名	変更前	変更後	変更年月日
	代表者	代表者	
加賀建設(株)	鶴山 庄市	鶴山 雄一	令和2年1月22日

なお、変更があった時点で届出頂くようお願い致します。

県協会からのお知らせ

令和2年2月行事予定

- 2月 2日(日) 西田昭二新春国政報告会 (あえの風)
 3日(月) 正副会長会議
 常任理事会
 4日(火) 土木委員会 金沢河川国道事務所との意見交換会
 (ANAホリデイ・イン金沢スカイ)
 青年委員会 富山県青年部新春講演会
 (富山 グランテラス富山)
 5日(水) YouTubeを活用した情報共有と人材育成講習会
 開催について(～7日)
 情報共有システム体験会 (金沢市立工業高校)
 7日(金) 北陸地方整備局との意見交換会
 (ホテル日航金沢)
 翠星高校意見交換会 (翠星高校)
 8日(土) 富士教育訓練センター派遣事業(～15日)
 (静岡 富士教育訓練センター)
 9日(日) 佐々木紀新春国政報告会 (小松公会堂)
 公明党「新春政経懇話会」 (ホテル金沢)
 12日(水) 北陸地方建設事業推進協議会 部会(～13日)
 (北陸地方整備局)
 14日(金) 建築委員会 技術部会
 建退共 事務担当者意見交換会
 (東京 TKP池袋カンファレンスセンター)
 17日(月) 会報編集委員会
 ICT活用講習会(経営者クラス)
 18日(火) 広報・研修委員会 企画部会
 19日(水) 令和2年度 建設業経理検定等実施計画説明会
 (東京 建設業振興基金)
 令和元年度 災害対応功労者感謝状贈呈式
 (北陸地方整備局)
 20日(木) 青年委員会 石川県との意見交換会
 (ANAホリデイ・イン金沢スカイ)
 ICT活用工事報告会 (富山 富山県民会館)
 21日(金) 技士会 DVD講習会 (小松能美建設業協会)
 情報共有システム体験会 (小松工業高校)

- 22日(土) 令和元年度自衛隊入隊入校予定者激励会
 (金沢 東急ホテル)
 25日(火) 建設業税財務講習会
 北陸建設業協会 事務局会議 (福井)
 26日(水) 全建 労働委員会 (東京 東京建設会館)
 石川県産業教育振興会 第2回理事会
 (ANAホリデイ・イン金沢スカイ)
 27日(木) 北陸地方建設事業推進協議会 運営委員会
 (北陸地方整備局)
 北陸地方整備局と北陸3県土木施工管理技士会
 との意見交換 (新潟 アートホテル新潟駅前)
 28日(金) 事務局打合せ
 土地改良委員会 第3回技術検討部会
 29日(土) 情報共有システム講習会

令和2年3月以降の行事予定

- 3月 2日(月) 全建 経営委員会 (東京 東京会館)
 3日(火) 正副会長会議
 建設産業人材確保・育成推進協議会
 (東京 浜離宮プラザ)
 6日(金) 全国建産連 総務委員会 (東京)
 7日(土) 岸 省三氏旭日双光章受章を祝う会
 (ホテルアローレ)
 11日(水) 全国建産連 専門工事業委員会 (東京)
 13日(金) 技士会 DVD講習会 (七尾鹿島建設業協会)
 廃棄物講習会
 18日(水) 全建 協議員会 (東京 経団連会館)
 19日(木) 建災防 第145回理事会 (東京 経団連会館)
 建設業振興基金参与会 (東京 経団連会館)
 23日(月) 土地改良委員会 全体会議 (ホテル日航金沢)
 26日(木) 全建 専務・事務局局長会議 (東京 鉄鋼会館)
 4月 3日(金) 正副会長会議
 常任理事会
 7日(火) 新入社員研修(～9日)
 27日(月) 正副会長会議

- 5月11日(月) 理事会(建災防10:30・組合11:30・協会12:15)
- 20日(水) 全建協連 総会・懇親会 (東京 霞が関ビル)
- 26日(火) 総会 (建災防11:00・組合13:00・協会14:00)
- 29日(金) 全建 表彰式・総会・懇親会
(東京 経団連会館)
- 6月15日(月) 測量コンテスト (金沢市ものづくり会館)
- 23日(火) 全建協連 専務・事務局長会議
(東京 霞が関ビル)
- 24日(水) 全国建産連 通常総会 (東京)
- 9月30日(水) 全国建産連 会長会議
(高知 ザクラウンパレス新阪急高知)
- 10月26日(月) 北陸建設業協会 地域懇談会(ホテル日航金沢)

「協会報」への随筆等投稿(お願い)

- ①随筆文字数 400字詰め原稿用紙3枚(1,200字以上)
- ②投稿の期日 毎月25日頃(翌月号の編集締切り)
- ③協会報の発行 毎月1日発行
(毎月10日前後納入、会員送付)
- ④謝礼 投稿頂いた記事について薄謝贈呈

(注) お問い合わせは、
 (一社)石川県建設業協会事務局広報担当
 TEL 076-242-1161 (代) 内線40番

地区協会からのお知らせ

(一社)金沢建設業協会

- 《行事予定》
- 2月 3日(月) 常任理事会
 - 4日(火) 青年：幹事会
 - 10日(月) 青年：情報発信セクション
 - 12日(水) 現場責任者研修会
 - 14日(金) 救命講習
 - 27日(木) 企業経営者・後継者研修会
青年：全体会

《お知らせ》
 3月 5日(木) 献血奉仕活動

(一社)加賀建設業協会

- 《行事予定》
- 2月19日(水) 監理技術者講習
- 《お知らせ》
- 3月初旬 建災防加賀分会 安全パトロール
 - 中旬 3月役員会

実施予定

(一社)小松能美建設業協会

- 《行事予定》
- 2月25日(火) 監理技術者講習

(一社)白山野々市建設業協会

- 《行事予定》
- 2月 7日(金) 翠星高校2年生と意見交換会
 - 下旬 理事会

河北郡市土建協同組合

- 《行事予定》
- 2月27日(木) 令和2年 河北郡市土建協同組合並びに環境整備組合合同新年会(和倉温泉 加賀屋)

(一社)羽咋郡市建設業協会

- 《行事予定》
- 2月20日(木) 監理技術者講習
 - 25日(火) 役員会

《お知らせ》

- 3月11日(水) 定期健康診断
- 中旬 役員会
- 下旬 河川堤防・護岸の点検パトロール

(一社)七尾鹿島建設業協会

- 《行事予定》
- 2月 5日(水) 監理技術者講習

(一社)鳳輪建設業協会

《お知らせ》

- 2月 5日(水) 正副会長会議、理事会
働き方改革講習会

(一社)珠洲建設業協会

- 《行事予定》
- 2月14日(金) 建災防幹事会
 - 15日(土) 土木部会
 - 21日(金) 理事会

- 5月11日(月) 理事会(建災防10:30・組合11:30・協会12:15)
- 20日(水) 全建協連 総会・懇親会 (東京 霞が関ビル)
- 26日(火) 総会 (建災防11:00・組合13:00・協会14:00)
- 29日(金) 全建 表彰式・総会・懇親会
(東京 経団連会館)
- 6月15日(月) 測量コンテスト (金沢市ものづくり会館)
- 23日(火) 全建協連 専務・事務局長会議
(東京 霞が関ビル)
- 24日(水) 全国建産連 通常総会 (東京)
- 9月30日(水) 全国建産連 会長会議
(高知 ザクラウンパレス新阪急高知)
- 10月26日(月) 北陸建設業協会 地域懇談会(ホテル日航金沢)

「協会報」への随筆等投稿（お願い）

- ①随筆文字数 400字詰め原稿用紙3枚（1,200字以上）
- ②投稿の期日 毎月25日頃（翌月号の編集締切り）
- ③協会報の発行 毎月1日発行
(毎月10日前後納入、会員送付)
- ④謝礼 投稿頂いた記事について薄謝贈呈

(注) お問い合わせは、
 (一社)石川県建設業協会事務局広報担当
 TEL 076-242-1161 (代) 内線40番

地区協会からのお知らせ

(一社)金沢建設業協会

- 《行事予定》
- 2月 3日(月) 常任理事会
 - 4日(火) 青年：幹事会
 - 10日(月) 青年：情報発信セッション
 - 12日(水) 現場責任者研修会
 - 14日(金) 救命講習
 - 27日(木) 企業経営者・後継者研修会
青年：全体会

《お知らせ》
 3月 5日(木) 献血奉仕活動

(一社)加賀建設業協会

- 《行事予定》
 2月19日(水) 監理技術者講習
- 《お知らせ》
 3月初旬 建災防加賀分会 安全パトロール
 中旬 3月役員会

実施予定

(一社)小松能美建設業協会

- 《行事予定》
 2月25日(火) 監理技術者講習

(一社)白山野々市建設業協会

- 《行事予定》
 2月 7日(金) 翠星高校2年生と意見交換会
 下旬 理事会

河北郡市土建協同組合

- 《行事予定》
 2月27日(木) 令和2年 河北郡市土建協同組合並びに環境整備組合合同新年会（和倉温泉 加賀屋）

(一社)羽咋郡市建設業協会

- 《行事予定》
 2月20日(木) 監理技術者講習
 25日(火) 役員会

《お知らせ》
 3月11日(水) 定期健康診断
 中旬 役員会
 下旬 河川堤防・護岸の点検パトロール

(一社)七尾鹿島建設業協会

- 《行事予定》
 2月 5日(水) 監理技術者講習

(一社)鳳輪建設業協会

《お知らせ》
 2月 5日(水) 正副会長会議、理事会
 働き方改革講習会

(一社)珠洲建設業協会

- 《行事予定》
 2月14日(金) 建災防幹事会
 15日(土) 土木部会
 21日(金) 理事会